

第4期市川市地域福祉計画 進行管理事業 令和5年度進捗状況について

第1回 市川市社会福祉審議会	資料2-①-2
令和6年7月31日(水)	

各事業の評価方法（A評価を100点満点とし、以下、B評価75点、C評価50点、D評価25点として配点）※目標達成度は基本目標ごとに点数の合計を満点数で除し、100を乗じて得た割合（小数点以下、四捨五入）
 A 十分達成できた（75%以上） B 概ね達成できた（50%以上75%未満） C やや不十分だった（25%以上50%未満） D 不十分だった（25%未満）

基本目標Ⅰ 安心と信頼のあるまちづくり

【目標達成度】 100% (前年度94%)	市川市よりそい支援事業実施計画を策定し、令和5年7月より重層的支援体制整備事業を開始した。		
事業名	評価	評価理由等	
1 地域福祉に関する情報発信	A	広報いちかわや公式YouTubeにおいて、民生委員の活動を周知することができた。	
2 相談支援体制の整備	A	「重層的支援体制整備事業」を、市川市よりそい支援事業としてスタートすることができた。	
3 成年後見制度利用支援事業	A	相談件数目標値：1,570件 → 実績：2,551件 PR等活動回数目標値：12件 → 実績 21件	
4 福祉サービス苦情解決事業	A	福祉サービス苦情解決事業運営委員会を開催するとともに、第三者委員が千葉県主催の研修に参加した。	

基本目標Ⅱ 参加と交流のまちづくり

【目標達成度】 93% (前年度86%)	自治会と協力し個別避難計画の作成や、民間事業者との災害時支援協定を結ぶことができた。		
事業名	評価	評価理由等	
5 地域ケアシステム推進事業	A	地域の福祉コミュニティの充実に係る活動支援を行い、サロンはコロナ前とほぼ同様の状況に戻った。	
6 コミュニティワーカーの配置	A	対象年齢を問わない個別支援にも対応し、地域支援だけではなく機能を果たした。	
7 学校と地域の連携推進	A	学校運営や地域住民や保護者、学校関係者の声を反映させるため、活発な会議を実施することができた。	
8 自治(町)会の加入促進	B	前年度と比較し、加入世帯数が減少した。	
9 避難行動要支援者対策事業	A	名簿登録者目標値：3,651人 → 実績：3,813人	
10 福祉避難所	A	マニュアルの見直しや、新規の協定締結について民間事業者1件と結ぶことができた。	
11 ボランティア・NPO活動に関する情報提供	B	ボランティア募集サイトをリニューアルし、情報を整理し集約することができたが、情報量は十分ではない。	

基本目標Ⅲ 安全とるおいのあるまちづくり

【目標達成度】 100% (前年度100%)	現地調査を実施したことで、申請者に対し適切な給付ができた。		
事業名	評価	評価理由等	
12 住宅改修費の助成事業	A	申請件数目標値：1,270件 → 実績：1,149件	

基本目標Ⅳ 自立と生きがいづくり

【目標達成度】 88% (前年度100%)	自立相談支援事業における新規相談受案件数が、前年度と比較して、約7%増加した。		
事業名	評価	評価理由等	
13 生活困窮者自立支援	A	相談件数目標値：500件 → 実績：885件	
14 移動サービスの支援事業	B	既存事業者の更新登録について、協議し合意を得られた一方、新規事業者の増加には至らなかった。	

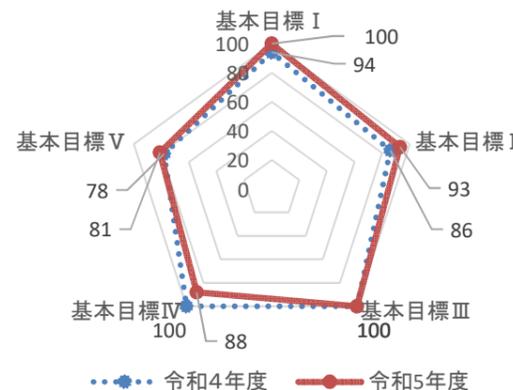
基本目標Ⅴ 地域福祉推進の基盤づくり

【目標達成度】 81% (前年度78%)	サロン活動が幅広く周知されるとともに、前年度と比較して交流や情報共有の場が確保できた。		
事業名	評価	評価理由等	
15 地域福祉の啓発	B	地域ケアシステムに関する意識啓発について、例年通りの周知方法にとどまった。	
16 地域活動の担い手養成研修	C	研修受講人数目標値：100人 → 実績：34人	
17 相談員育成の支援	B	「てらぼサロンまつり」を実施し、サロン活動の担い手同士の情報交換、来場者との交流が見られた。	
18 地域活動応援制度の創設・実施	C	提供施設目標値：20件 → 実績値：5件 制度の利用、提供に関する問い合わせがなかった。	
19 地域活動拠点の整備	A	場の確保を実施し、環境整備にも努めた。	
20 団地集会所の開放	A	自治会からの申請に対して、すべて使用を許可し、使用料を免除とした。	
21 地域資源のネットワークづくり	A	地区推進会議に参加し、地域へ情報共有を実施した。	
22 個人情報適正活用支援	A	前年度に引き続き、個人情報に関するリーフレットを市公式Webサイトに掲載している。	

計画全体

【目標達成度】 90% (前年度86%)
--

基本目標ごとの達成度(前年度比較)



令和5年度の達成度は、令和4年度より4%高い90%となった。

「基本目標Ⅰ」「Ⅲ」においては、すべてA評価となり、目標を達成した。理由としては、令和5年度7月より「重層的支援体制整備事業」を開始し、地域共生社会の実現に向け、相談体制を充実したことがなどが挙げられる。第4期地域福祉計画によって、市川市の地域福祉の推進に繋がったと考えられるが、一方で、「基本目標Ⅴ」の「地域活動の担い手養成研修」「地域活動応援制度の創設・実施」等においては、目標達成に向け、周知に課題があることがわかった。これらは第5期地域福祉計画においても進捗管理していくこととしており、目標達成に向け引き続き取り組んでいく。